

機能・メニュー		業界	要望	解決すべき課題	対応状況 () はリリースノート番号	
HS管理機能		自動車	HSコードの解釈が人それぞれになってしまい会社としてどう認識を合わせるのが難しい。システムで標準化したい。	C	(5)	HSコード管理機能で対応
		繊維	依頼を受けたHSコードが自社製品と一致しない場合のすりあわせに時間がかかる。			HSコード管理機能で対応
		産業機械	社内でのHSコードのデータ共有、整理したい。			HSコード管理機能で対応
		金属鉄鋼	自社製品のHSコード分類履歴を管理したい。			HSコード管理機能で対応
		その他	HSコードの管理が大変			HSコード管理機能で対応
		産業機械	構成品情報にHSコードを振る業務に一番苦労している。BOMに自動でHSコードを振れる機能があるとよい。	C	-	検討中
原産資格調査 (D)	判定機能	素形材	協定年次のHSコードを自動で表示は非常に重要であるため便利だと思う。	C	(2) (12) (16)	済
		産業機械	協定年次のHSコードを自動で表示や適用できる品目別原産地規則の自動表示は便利			済
		金属・鉄鋼	協定年次のHSコードを自動で表示や自動判定機能が便利。			済
		その他	協定年次のHSコードを自動で表示や自動判定機能が便利			済
	根拠書類	化学	・根拠書類に輸出者判定品であることの欄を追加してほしい	(7) (14)	済	
		自動車	・JAFTASで僅少を利用して判定した場合、僅少の計算結果等も対比表に出力してほしい		済	
		自動車	・根拠書類上で品番/品名等が長いと縮小されて読みづらいため、折り返し表示にしてほしい		済	
		金属・鉄鋼鉄鋼	・根拠書類に生産工場名、生産工場住所を複数記入したい	D	-	検討中
		自動車/化学	・根拠書類に自由記述欄を設けてほしい	-	検討中	
		複数業界から多数の要望あり	・JCCIシステムと連携してほしい	(11)	RCEPも含め、判定依頼のTSV出力は対応済み。 日本商工会議所と前向きに協議を開始	
一覧画面	自動車	検索項目を追加してほしい	E・F	(9) (17)	済	
	複数業界から多数の要望あり	一覧に表示されている項目の内容が分かりづらい		(18)	済	
通知メール	自動車	更新や差し戻しなどメールでの通知が来る際に、JAFTASにログインをしないと案件の確認ができない。優先度を判断するため、メールの件名に「会社名」や「ID」を入れてもらえるとうい。	E・F	-	検討中	
	自動車	リマインドメールの配信設定を回答者側でも可能にしてほしい。		-	検討中	
	自動車	毎日のように届く「調査回答情報が更新されました」のメールは、どの案件のどのような進捗に関するものか具体的な内容がわからない。わかるようにしてほしい。多分この件かなとアタリをつけて確認している。		-	検討中	

【別添3】実証事業版JAFTASに関する主なご意見（報告書版）

※青ハイライトのご意見は実施報告書P15-16記載内容と重複あり

機能・メニュー	業界	要望	解決すべき課題	対応状況 ○ はリリースノート番号	
後続作業への通知	電子部品	メニューごとに作業部署が異なるため、後続の作業への通知機能などがほしい。	E・F	-	検討中
	自動車	社内で担当者別にユーザー権限を分けるため、承認依頼時などに通知がされない現状の仕様がネック。今後の改修を希望。		-	検討中
	化学	後続の作業への通知や、承認申請の通知など、進捗を進められる仕組みが無いというのが大きなネックとなった。グループ企業や部門間のメールが飛び交っている問題の解消に期待したが、「自分から見に行く」「JAFTAS外で連絡する」という部分が多く、工数削減にはつながらないと判断した。進捗はステータスで見えるが、「進捗をつくる」という面が改善されると望ましい。		-	検討中
	化学	社内での進捗についても、通知メールが飛ぶ仕組みにして欲しい。自社の事業部でEの登録をし、それをHDでチェック&承認を行っている。又、対比表のチェックもHDで行っており、2社間のやり取りが多い。通知や承認依頼が飛ぶ仕組みがないと業務フローでJAFTAS外のやり取りが増えてしまう。		-	検討中
	自動車	社内で担当者別にユーザー権限を分けるため、承認依頼やその後の承認後の通知がされるとよい。		-	検討中
	自動車	自動配信メールについて、多数の部署をまたいでフローが進むため、社内の進捗についても配信メールが飛ぶ仕組みが望ましい。又、通知する内容の分類によって通知対象者が分けられると嬉しい。		-	検討中
アカウントの在り方	化学	グループ会社が1つのアカウントで企業名を切り替えて使える仕組みであれば検討できた。弊社の場合、グループ会社3社で共通の材料がある、といったようなケースが多いため、3社バラバラのマスタ管理となると厳しい。	E・F	-	検討中
	化学	グループ企業内で作業が入り混じっているため、法人単位でアカウントが分かれることと実務がフィットしない。		-	検討中